

静岡県立富士高等学校

令和5年度 学校関係者評価実施報告書

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	日常的な授業改善への取組等を通し、生徒の主体的な学びを促し、学力の向上を図る。	●「授業(分かりやすさ、意欲等)は概ね適切」と答える生徒・保護者 90%以上	B	B	ICT活用の授業を実際に参観することで理解が深まった。保護者へも参観の機会を増やすとよい。成績下位層の授業理解を促進し、「底上げ」を図ってほしい。
		●「授業改善に取り組んだ」と答える教員 100%	A	A	100%取り組んだと言い切れるところが素晴らしく、常に前向きな姿勢がありがたい。授業改善に向けた教員同士の交流に力を入れてほしい。
		●「タブレットを効果的に授業に活用している」と答える教員 100%	A	A	タブレットを有効活用できているとのこと。さらに新しい情報を進めながら進めていただきたい。生徒の授業参観に併せ、教員の働き方改革に向けタブレットの活用も考えてほしい。
		●「主体的に学習に取り組んでいる」と肯定する生徒・保護者 85%以上	B	B	教え込むのではなく、学びのヒントやきっかけづくりを与えることに力をいれるべき。生徒の評価がやや低いが、「主体的」に進めている実感を持たせる工夫が必要。アイデアを生徒からどんどん出させる仕組みや雰囲気づくりを心掛けてはどうか。
		●「学校は生徒の学力向上に努力している」と肯定する生徒・保護者 80%以上	A	A	教員の知識、教え方の工夫、意欲とも高いレベルにある。この項目は常に生徒・保護者の評価が高くありがたい。生徒の満足度が高いことは何より大切である。
		● 理数科生徒及び担当教員課題研究への満足度の向上 ● 各種行事生徒満足度 4.5 以上(満点 5.0 点)	A	A	他クラスとの交流が少なくなりがちな理数科だが、他校の発表会に参加したことは、生徒にとって刺激のある経験だったと思う。理数的な知識を実社会での応用する時に重要となる倫理観や哲学的視点の涵養にも力を入れてほしい。総合的な意味で「トップレベル」の人間と接する機会を増やしてほしい。
イ	高いところざしを育み、進路実現を図る、計画的・組織的・継続的な進路指導を実践する。	●「学校は、生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている」と肯定する生徒・保護者 85%以上	B	B	保護者が子供の選択の決定プロセスについて、学校の関与が不十分と考える理由を探る必要がある。保護者の評価がやや低いが、生徒自身が満足しているのであれば良いのでは。実際様々な進路指導をしてくださっているので、保護者への広報を工夫して知らせてはどうか。
		●「学校は、生徒の進路希望実現のために適切な情報を提供している」と答える生徒・保護者 85%以上	B	B	保護者の評価が低いことの理由を探り、情報提供の中身や提供の仕方を工夫すべき。関心の高さ故の情報に対する高度な要求とのギャップも考えられる。保護者への発信を増やすことで安心感も高まると思う。

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ウ	富士高生にふさわしい品位ある態度や行動を促すとともに、リーダーとしての社会性や国際感覚を育む。	●「学校は基本的な生活習慣を身に付けるよう適切な指導をしている」と答える生徒・保護者 90%以上	B	B	基本的に好ましい生活習慣を身に付けている生徒が多いと思われるため、学校での拘束感はできるだけ低い方が良い。その後の人生に多大な影響を与える「大やけど」にだけ気をつけていれば良い。
		●「頭髪、服装指導等、学校の生徒指導に共感できる(理解している)」と答える生徒・保護者 90%以上	B	B	生徒とともに考え、時代に合った形に校則を見直していくことが必要だと思う。校則は時代とともに大きく変化する事項であり、ルールの遵守や指導の大変さも理解できることだと思う。
		●「富士高生のモラルやマナーはよい」と肯定する生徒・保護者 90%以上	B	B	学習だけでなく、学校行事などへの参加意欲が高く、自主自立の意識はしっかり持っていると感じる。生徒自身がモラルやマナーに対して高い意識をもっているために、かえって生徒自身の評価が低くなっているのではないか。
		●国際感覚の涵養等に資する研修会等への参加生徒の増加	A	A	世界の中の日本とともに、世界の中の静岡、富士という「グローバル」な視点を高めてほしい。生徒の自主的な参加者が増加しており、視野を広める絶好の機会だと思う。
		●自転車事故件数 15 件以下	A	A	高校生の自転車マナーの向上は非常に重要。イヤホンを入れての運転には特に留意してほしい。初期指導の徹底をお願いしたい。
		●「学校の交通事故等に関する指導は適切である」と答える生徒・保護者 90%以上	A	A	スタントマンの交通セミナーは生徒の食いつきも良く、効果的であり、継続すべきことと思う。保護者へは広報で伝えることで理解していただく。
		●いじめ0件	A	A	いじめ0件という目標設定は「0件」という数字に重きが置かれ、「該当しそうだが認知しない」という姿勢につながらないか気になる。生徒の高校生活全般が充実したものであればいじめも起きないであろう。
		●非行等の問題行動 0件	B	B	生徒とのコミュニケーションを深め、積極的に把握しよう、水面下に埋没させないで解決につなげよう、という姿勢が重要ではないか。
エ	豊かな感性を育み、心身の健康の保持・増進を図る。	●学校図書館の蔵書の貸出数 1800 冊以上	A	A	本離れと言われる中、図書館の利用が多く素晴らしい。芸術鑑賞会も好評とのこと。個人ではあまり触れないジャンルの紹介もすることで、生徒も新たな興味が湧くと思われる。
		●「学校は生徒の健康、安全、衛生面に配慮している」と答える生徒・保護者 85%以上	B	B	トイレと空調関係に特に留意してほしい。家庭での食生活改善を意識した食育も重要だ。新型コロナ対策に関する意識が徐々に変化している時期であり、評価は難しいと思う。
		●「学校は悩みや相談に適切に対応している」と答える生徒・保護者 80%以上	B	B	教員は生徒とのコミュニケーションを深め、心身の異変に早期に気づいてほしい。教員の多忙解消も重要。生徒がSOSを出しやすい環境づくりに努めてほしい。生徒・保護者いづれへも対応の窓口があることを折に触れ知らせておく。
		●学習環境の改善・安全対策修繕 10 か所以上	A	A	教職員、生徒、地域住民など幅広いチャンネルで不良箇所の把握と改善に努める。

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
オ	組織的な学校運営と家庭・地域等への情報発信により、信頼関係を築く。	● 週に1回以上、学校ホームページを更新する。	A	A	「選ばれる学校」を意識して躍動感のある新鮮な内容のホームページにする。写真部などにInstagramを任せて、校内や市内の魅力を富士高校から発信してみてもどうか。
		● 「学校からの情報は内容に富み参考になる」と答える生徒・保護者 80%以上	C	C	社会のトレンドや生徒・保護者の関心とリンクした情報が少ないのではないかと。配付印刷物のレイアウトなどを思い切って変えてみる。HPのデザインや新着情報の見せ方も大切であると思う。
		● 「研修等を通し、不祥事根絶に向けた意識が高まっている」と答える教職員 100%	A	A	教員同士の交流を深め、同僚意識を高める。互いに悩みを打ち明けられるような雰囲気職員室内でつくる。
		● 「防災意識が高まった」と答える生徒・教職員 80%以上	A	A	学校が避難所になった時の運営と学校再開の具体的なプロセスを行政などと一体になって普段から意識し、教員間で共有する。生徒に担当させると効果がより上がると思う。
		● 「家庭で防災に関する話し合いを行った」と答える生徒・保護者 50%以上	A	A	生徒が家庭で防災のリーダーシップを取れるように知識と行動力を高める。災害の多い昨今、家族内でも話題にのぼることが多いと思われ、話し合いのきっかけとなる。
カ	適切な事務の執行を行い、信頼される事務室を目指す。	● 監査における指摘0件	A	A	前例踏襲ではない現場の要望を踏まえた予算構築に努める。適正な処理を継続してほしい。
		● 経営予算執行残が0.5%未満	A	A	予算は教育の質に関わる問題であり、メリハリを付けて必要な財源を確保する。適正な処理を継続してほしい。
		● 施設設備における事故発生0件	A	A	施設の老朽化が進む中で、普段から不良箇所の把握を意識する必要がある。適正な処理を継続してほしい。
キ	働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。 働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。	● 1分掌1業務改善の提言	A	A	教員、事務職員の適切な仕事分担で、双方がやるべきことに専念できるようにする。実際に活用すれば当事者の習熟度も高まる。様々な工夫で効果を上げ、少しずつでも業務の負担が減少すればと思う。
		● 「部活動ガイドライン」の趣旨を遵守している部活動 100% (12/31時点での平日・休日の休養日数の合計が基準に達しているかで評価した。)	A	A	教員の多忙解消の柱であり、外部人材も積極活用しながら教員の負担を減らす。中学校同様、地域化を促進していく必要があるのではないかと。
		● 年休取得前年度比増(最低5日以上)	A	A	教員がメンタル面のSOSを出しやすい環境を作る。中堅以上は、特に若手職員の相談にしっかり乗ってあげてほしい。